「全国版空き家・空き地バンク」について

国土交通省

現状・課題

○　空き家対策のため、空き家バンクを設置する自治体が増加しているが、自治体ごとに各々設置されているだけでは、開示情報の項目が異なり分かりづらく、また、検索が難しいなど、課題が存在。

全国版空き家・空き地バンクの構築

○　国土交通省では、**自治体が把握・提供している空き家等の情報について、自治体を横断して簡単に検索**できるよう「全国版空き家・空き地バンク」を構築。

○　**平成29年10月より**、公募により選定した**2事業者【(株)LIFULL(ライフル)・アットホーム(株)】が試行運用**を開始。

○　準備が整った自治体から順次掲載を進め、システムの改善等を行った上で、**平成30年4月より本格運用**を開始。

株式会社LIFULL



URL：https://www.homes.co.jp/akiyabank/

アットホーム株式会社



URL：https://www.akiya-athome.jp/

※　国土交通省HPにも下記バナーを設置



←バナーをクリックすると各社のサイトをご覧いただけます。

現在の運用状況

○1,155自治体の参加
○順次、物件情報の掲載等を推進中
（現在、750自治体が掲載中）

成約実績

○自治体へのアンケート調査等によると、
約29,000件の物件が成約済

※令和8年10月末時点